

小林

涼子さん
(川西)



菊川市誕生当時の思い出は？

新しい出会いにワクワク

当時私は、2人の子育てをする傍ら、放課後児童クラブの職員や、小笠町男女共同参画プラン策定委員を務めるなど、地域によく顔を出していました。合併を機に、その繋がりから、それまで関わることのなかった菊川町の人たちと関わるようになりました。当時、新しい出会いにワクワクしていたことを覚えています。

この20年を振り返って

子ども達の笑顔があふれる菊川へ

菊川市誕生後、放課後児童クラブは全小学校に併設され、子育て支援が充実しました。また、地区センターが小笠地域の全地区に新設。声を掛けていただき、小笠東地区コミュニティセンター「くすりん」に5年間、事務長として勤務しました。資格や経験など特になく私ですが、自分にも地域のためにお手伝いできたことが嬉しかったです。現在、2人の子どもは家庭をもち、私には4人の孫がいます。そして、今でも勤めている児童クラブでは、どの小学校の子も変わらず、やんちゃでのびのびと過ごす姿に日々元気をもらっています。この先も、子ども達の笑顔があふれる菊川であるように、地域の子ども達を見守っていきたいです。

菊川市誕生当時の思い出は？

菊川市の誕生をみんなで祝い

私は、当時自治会長を務めていました。1月17日には、自治会のみんなを集め、菊川市の誕生を祝ったことを覚えています。合併の年は、自治会長として大変な事も多かったですが、今よりコミュニケーションの場が多く仲間たちと集まり楽しんでいました。



この20年を振り返って

仲間たちと「田んぼアート」を守り続ける

長年「観光農業」に携わってきた経験もあり、菊川市誕生後、地域おこしのため「田んぼアート」を企画しました。最初は2色の稲でシンプルに描いたアートですが、18年目となる今では稲も9種類に増え、遠近法を用いるなど進化し続けています。

昔からうちのハウスはみんなの溜まり場で、今でも地元や農家の仲間が集まって雑談や魚釣りをしたり、毎年田んぼアートを開催したりと幸せな日々を過ごしています。これからも、そんな仲間や、これから出会う新しい仲間たちと、菊川市に欠かせない観光資源となった田んぼアートを守っていければと思います。

池田

正さん
(政所)



～この先も菊川市と～

菊川市は、多くの人に支えられ、20周年を迎えることができました。
笑顔が溢れ、夢に挑戦できる住みたいまちの実現を目指し、
この先も、新しい未来に向かって皆さんと一緒に歩み続けます。

